

# 日本鉄筋継手協会賞運営要項（鉄筋継手部検査技術者技量部門）

平成23年11月16日 制定

（目的）

1. この要項は、日本鉄筋継手協会賞表彰規程（以下、「規程」という。）に基づき、規程に定める技術功労賞の推薦要項及び日本鉄筋継手協会賞選考委員会（以下、「選考委員会」という。）の運営に際し、鉄筋継手部検査技術者技量部門に係わるものの運営方法について定める。

（技術功労賞の候補者）

2. 候補者は、次の各号に該当するものとする。
  - (1) 協会正会員（以下、「会員」とする）の会社に10年以上勤務し、現在も勤務中で、その検査実績及び品質管理実績が顕著で他の模範となる者。
  - (2) 表1に定めるいずれかの候補者対象技量資格取得後5年以上経過し、現在、その当該技量資格による作業に従事している者で、かつ鉄筋継手管理技士技量資格所持者である者。

表1 表彰候補者対象技量と対象技量種別

候補者対象技量資格	技量種別
鉄筋継手部検査技術者技量	第3種
熱間押抜検査技術者技量	—

※熱間押抜検査技術者技量資格は1種別のみ

- (3) 前(1)、(2)項における経過年数は、当該年度の12月末現在とする。

- (4) 会員の代表者は除く。

（候補者の推薦）

3. 候補者の推薦は、会員代表者が行うものとする。ただし、1会員の推薦できる候補者は、原則として1名とする。

（候補者の選考）

4. 選考する候補者は、表1に定める候補対象技量資格5名以内とする。

（審査及び賞の決定）

5. 審査は、規程により選考委員会が行い、必要により現地調査、面接等による選考を妨げない。

（推薦書等申請書類の提出）

6. 推薦者は、以下の所定様式の書類を毎年協会が定める期日迄に、協会事務局宛提出する。
  - ①日本鉄筋継手協会賞候補者推薦書（様式賞-3） 1通
  - ②会社概要 1通
  - ③申請日以前の直近2年間に日本国内でその当該技量資格による検査または管理を行った現場の検査要領書、検査報告書のうち、候補者が携わったことがわかる部分の抜粋コピー各5通
  - ④被推薦者業務経歴書 1通
  - ⑤候補者推薦理由書（様式賞-4） 1通

（その他）

7. 表彰式に出席する受賞者及びその関係者の旅費等は、各自負担とする。

（本運営要項の改正又は廃止）

8. この要項の変更又は廃止は、選考委員会の審議を経て、理事会の承認を得なければならない

い。

9. 平成 24 年度までの経過措置として、鉄筋継手部検査技術者第 3 種の資格制度発足以前に取得した鉄筋ガス圧接部超音波探傷検査技術者 A 種を対象技量資格取得期間に合算する。

(別 添)

様式賞－3 日本鉄筋継手協会賞候補者推薦書

様式賞－4 候補者推薦理由書

<以下、空白>